

広報 むさしの

令和2年
11月
VOL.66



9月14日、むさしので「長寿を祝う会」を行いました。

例年のご利用者様のご家族をお招きし賑やかに行っているのですが、本年は感染症対策として、施設職員から表彰と記念品の贈呈を行いました。

記念品は職員がご利用者様一人ひとりのことを考えながら選んだもので、皆様大変喜んで下さいました。

本年特養むさしので祝い年を迎えられた方は、

百寿(100歳)1名、卒寿(90歳)2名、米寿(88歳)10名、傘寿(80歳)3名の合計16名でした。

秋の食事行事



ご利用者様に「食欲の秋」を楽しんで頂こうと、10月28日に秋の食事行事を行いました。
メニューは広島風お好み焼き、チョコレートフォンデュ、りんごのコンポートです。
ご利用者様は料理風景をワクワクした様子でご覧になり、また、フロアでお好み焼きのいい
香りを楽しんで頂くことで、味覚だけでなく五感で「食欲の秋」を感じて頂けたことかと思
います。





9月30日の十五夜に合わせて、月見団子作りの行事を行いました。
 皆様で協力して月見団子を作って頂き、おやつとして召し上がって頂きました。
 普段あまり接点がない他ユニットのご利用者様とお話する様子も見られ、良い気分転換
 になったご様子でした。





長寿を祝う会



お誕生日 行事





秋祭り行事



デイサービスでは9月に「長寿を祝う会」、10月に「秋祭り行事」を開催しました。
「長寿を祝う会」では皆様へ記念品を贈呈し、職員余興として「ひげダンス」と「マジックショー」を披露しました。「人体切断」のマジックを披露する場面では、職員の体を心配されるご利用者様が何名もいらっしゃり、皆様の優しさに職員がほのぼのした気持ちになりました。
「秋祭り行事」では皆様真剣にお菓子釣りや巨大パチンコ、射的に取り組み、賞品をゲットされていました。どちらも沢山の笑顔で溢れる楽しい行事となりました。





こすもす

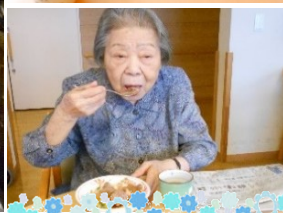
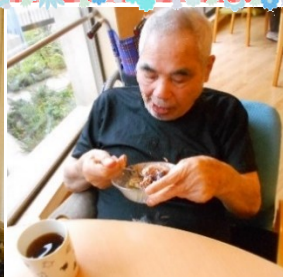


ひだまりではユニットごとに行事を行いました。

こすもすユニットでは秋のフルーツを使ったパンケーキ作りと、施設裏の公園へお散歩に行きました。

すいせんユニットではプリンアラモードとふかし芋を作り、おやつに召し上がって頂きました。

ひまわりユニットでは「31アイスクリーム」のアイスの中から好きなフレーバーを選んで頂き、おやつに召し上がって頂きました。



すい せん





たこ焼き行事



しゃく
なげ



小規模多機能では食事レクとして、ホットプレートを使用したたこ焼き行事を行いました。
通常のたこ焼きに加えて、ホットケーキミックスを使用したベビーカステラも一緒に調理し、おやつとして召し上がって頂きました。
食材を切る・混ぜる・焼くといった工程を皆様で分担し、手際よく準備して下さいました。

寒い時期の感染症予防

日に日に気温が下がり、冬の足音を感じる今日この頃。空気が乾燥するこれからの季節は様々な感染症が蔓延します。この冬を健康に過ごすための注意点を今1度確認しておきましょう。

・マスク着用、手洗い・うがい・手指消毒は必須です

今や生活の必需品とも言えるマスク。感染症予防だけでなく、周りの人を感染症から守るためにも着用が必須となります。外出の際は忘れずにマスクを着用しましょう。

また、外出後やトイレ後、食事前やお金を触った後等、こまめに手洗いと手指消毒を行いましょう。特に外出後のうがいは口内や喉に付着したウイルスを洗い流すため、感染症予防に効果的です。

・こまめに換気を行いましょう

季節性の感染症に加え、新型コロナウイルスの感染を避けるためにも、こまめな換気が重要です。

厚生労働省等が呼びかける「1時間に2回以上、2方向の窓を開ける」換気法や、24時間換気システムの利用が理想的ではありますが、室内外の温度差が激しいこれからの時期、換気を億劫に感じてしまう方もいるかと思えます。

そういった場合にお勧めしたいのは、外気を徐々に室内に取り込む「2段階換気」です。

まず人が滞在していない部屋等の換気を行い、同時に人が滞在している部屋のドアを開ける等して、滞留していた空気を室外に出すといった換気法です。直接外気を取り込む換気法と比べ、段階的に外気が取り込まれるため抵抗が少ないのではないのでしょうか。

・水分補給を忘れずに

様々な感染症を引き起こすウイルスは乾燥した状態で活発に活動し、反対に湿度50%以上になると活動が急激に低下します。喉や鼻の粘膜を乾燥から守ることでウイルスの侵入を防ぐと同時に、侵入したウイルスを痰や鼻水によって体外に排出する作用を助けることができます。

寒くなって汗をかかなくなり、水分補給を忘れがちではないでしょうか？

人間の体の約60%は水分でできており、毎日2～2.5リットルは体から排出されてしまいます。熱中症の危険は去りましたが、水分補給の重要性は夏と変わりません。意識的に水分補給をするよう心がけましょう。



全国健康保健協会HP(<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/g5/cat510/h24/1030-114569/>)等 参照

発行人

社会福祉法人ふじみ野福祉会

〒354-0003

埼玉県富士見市南畑新田16-1

TEL:049-255-6102 FAX:049-255-6601

<http://www.f-musashino.jp/>

(南畑地区)

- ・特別養護老人ホーム
- ・ショートステイ
- ・デイサービスセンター
- ・ヘルパーステーション
- ・支援センター
- ・配食サービス事業
- ・地域包括支援センター

(水子地区)

- ・地域密着型特別養護老人ホーム
- ・小規模多機能型居宅介護
- ・支援センター
- ・地域包括支援センター

施設長 吉江 孝行

編集後記

秋も深まり、木々の葉も色付きはじめ、日に日に寒さを実感する今日この頃です。

今年を振り返ると、新型コロナウイルスの感染拡大により生活が大きく変化したことを改めて感じます。当施設にも大きな影響があり、ご家族の皆様にも多大なるご協力賜りましたこと、改めて感謝申し上げます。

日に日に寒さが増し、空気が乾燥するとともに体調を崩しやすい季節となっています。ご利用者の体調管理に加え職員一同業務に全力で当たる事のできるよう、気を配っていきます。皆様もお体にはお気を付けてお過ごしください。

岩澤

☆ブログ更新中です☆

むさしのホームページ内スタッフブログにて施設内行事の様子等 情報発信中です。ぜひご覧ください。

